

🇸🇪 スウェーデン・イギリス研修報告 🇬🇧

目的

1. 病院清掃の技術向上を目指す
 - ・病院清掃に対する考え方
 - ・システムの違い
 - ・トレンドを調査する。
2. 病院の環境整備の標準化について、多くの文献がみられるイギリスの清掃実態を調査する。

ノースミドルセックス病院と庭園

！ベテランのなせるワザ

スウェーデンでは、病院の清掃業務を外部委託にすることはほとんどなく、清掃担当者は、20～30年勤務している人もいます。

単層塩化ビニルの床材（次頁で紹介している）を10年以上も使用し続けていることを聞いて、床材のすごさをほめると「私たちが清掃しているから、こんなにきれいな状態なんだよ。」と教えてくれました。

永年の業務で得られたベテランの知識と技術が、スウェーデンの病院清掃で光っていました。



！多彩

スウェーデンの病院では、あらゆるところにカラフルな色が多用されており、床もデザインされています。扉の開く範囲が示されていたり、小児病棟のプレイルームには船が置かれ、波が床にデザインされていました。病室のカーテンも日本のように無地ではなく絵柄のもので、見学したとき日光に照らされて気持ちよさそうな病室だと感じました。

！病院環境

イギリスでは、病院環境について『PEAT』や『CLEAN DAY』『清掃委託契約ガイドンス』など新しい方針や活動が発表されています。この取り組みについて、ノースミドルセックス大学病院で説明を受けたところ、このような活動により、病院環境はすばらしく改善されてきているとのことでした。

●研修感想●

スウェーデンやイギリスでも良好な病院環境を求めて、病院の関係者一同が丸丸となって取り組む姿勢は、たいへんな努力であると感銘しました。日本において、この熱意を私たちが伝えていくメッセンジャーであり、それを病院関係者のみなさまと一緒に形にしていきたいと願っています。

